



復刊第169号
題字 吉岡彌生

日本女医学会創立百周年の新春を迎えて

会長 橋本葉子

あけましておめでとございます。皆様お揃いで良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

済生学舎出身の前田園子女史らが中心になって設立された日本女医学会は、今年創立百周年をむかえました。公許の医師免許を持ちながら、医局では医師として認められなかった、また、医療情報も満足に入手できなかったところの旗揚げでありました。今日の男女共同参画社会に生きていくわれわれ女性医師にとって、百年前は想像を絶する社会であったことを理解するとともに、医療の世界では未だに男性優位の構造は変わっていないことも痛感しております。2001年は、日本女医学会にとって一歩前進した年でした。それは、会として、より社会に目を向けた活

動の開始年となったことです。若い会員の行動力の支援を受けて、「女性医師による十代の性と健康の支援事業」を立ち上げました。近年、社会問題になっております思春期のこどもの性的逸脱行動の現状に注目し、次代を担う青少年に性と健康に関する正しい医学的・文化的な情報を発信し、新しい性教育の推進役になるのが、主として地域と密着して活動している女性医師の役割ではないかと考えたからであります。まず「十代の性と健康」指導医養成講座を10月28日(日)、女性と仕事の未来館にて開催いたしました。女性医師のみならず、男性医師や健康教育に関係している方たちの参加も得て、たくさん問題提起もできました。親子で学べるローテーション向けの教材用

ビデオや小冊子も作成中であります。2002年5月18日(土)にはいよいよ創立百周年記念式典・祝賀会が開催されます。この日に合わせて、「日本女医学会百年史」、「THE FIRST WOMAN DOCTOR—The Story of Elizabeth Blackwell, M.D. by Rachel Baker, JULIAN MESENER, 1944. 世界最初の女性の医師—エリザベス・ブラックウェルの一生、大原武夫・大原一枝共訳」の出版を予定しております。THE FIRST WOMAN DOCTORは1987年に同じ著者名でSCHOLASTIC INC.から出版されておりますが、他の著者によるエリザベス・ブラックウェルの一生も近年何冊か出版されております。原著は医師向けではなく小学校高学年から中学生を対象とした易しい文章の本ですが、その内容は私どもが読んでも共感するところが多く、どこ国でも開拓者は同じような苦難の道歩んだことがよく分かります。日本女医学会の長老の大原一枝先生が暖めておられた原稿を日本でもぜひ世に出したいと思ひ、百周年を記念して出版にこぎつけました。

日本女医学会にとりまして記念すべき2002年が、より前進の年になりますよう、執行部も頑張りますので、会員の皆様のお一層のご協力ご支援をお願い申しあげ、年頭の言葉に代えさせていただきます。

もくじ

日本女医学会創立百周年の新春を迎えて……………橋本葉子 (1)

＜年頭所感＞
斯波 恵子 (2) 前田 慶子 (2) 金子ミサヲ (2)
岸 よし (2) 小田 泰子 (3) 兼谷 啓 (3)
渡辺 正子 (3) 松浦 俊子 (3) 岸 澄子 (4)
浜崎 浜子 (4) 緒方 文江 (4) 石井 伸子 (4)
隅 初音 (4)

＜平成13年度第一回学術研修講演会＞
学術研修会および懇親会……………澤口 彰子 (8)
青少年の性感染症……………巴 ひかる (9)
青少年の健康支援……………宮崎 雅則 (10)
＜十代の性と健康＞指導医養成講座＜
指導医養成講座の二報告……………対馬ルリ子 (11)
中・高生の性意識……………小田 洋美 (12)
わが国の青少年の性的実態について……………家坂 清子 (13)
性と健康に関する科学的知識……………早乙女智子 (13)
ヨーロッパとアメリカの取り組み……………劍 陽子 (14)
いのちのはじまり……………庄司 晶子 (14)
規範意識の低下が問題……………櫻井 馨 (14)
高校生の性の現状とニーズ……………高橋 裕子 (15)
健やか親子21について……………桑島 昭文 (15)
出席者の意見……………

＜公開講演会＞
宮城支部・堂本暁子知事をお招きして……………岡山 道子 (19)
埼玉支部・対馬ルリ子先生をお招きして……………源川千鶴子 (19)
京都府あけぼの賞をいただいて……………松本 文絵 (20)
日本糖尿病学会坂口賞をいただいて……………大森 安恵 (20)
第5回アロック別懇談会を開催して……………鳴河みどり (21)
専門医認定制協議会評価・審査専門委員会のご紹介……………橋本 葉子 (21)

＜支部だより＞目黒区女性医師の会を開催して……………中野 敏江 (22)
＜大阪の大学＞大阪市立大学医学部……………富永 恵子 (22)
* 第7回国際女医学会西太平洋地域会議について…………… (7)
* 百周年記念と総会のお知らせ…………… (7)
* 百周年記念事業寄付者一覧…………… (17)
* 新医学用語豆辞典…………… (20)
* 理事会議事録…………… (22)
* 会員動静…………… (24)
* 編集後記…………… (24)

年頭所感

北海道支部
斯波 憲子

あけましておめでとうございます。21世紀の二年目を日本女医学会発足百周年記念とともに迎えることをお喜び申し上げます。

価値観が多様化しているこのときに、会員の拡大を図ることは至難の技といえましようが、会長はじめ諸先生のご指導の下、当会がいっそう発展することを願っております。

ところで医療制度改革は果たして国民のためになっているでしょうか。医者と患者はスムーズなコミュニケーションが取れているでしょうか。医療は本当に患者の、特に女性の視点に立って行われているでしょうか。

当支部では北海道女性医師史の編纂を始め、多角的な講演会をいくつか企画しております。皆さま方のご参集を期待しております。

今日日本に満ちている閉塞感や沈滞ムードを、私たち女性医師が吹き飛ばそうではありませんか！

青森支部

前田 慶子

明けましておめでとうございます。輝やかしき21世紀を期待して幕を開けた昨年は、国外では、同時多発テロ、それに続く報復の戦争、国内では経済破綻による倒産、殺伐な犯罪、さらには狂牛病等暗い話題が多く、唯一の明るいニュースは敬宮愛子さまの御誕生を国民こそぞって喜ぶことができたことでした。

今年には日本女医学会の百周年記念の年でありますので、心を合わせて式典が成功するよう努力したいものです。また医療改革が問題になっておりますが、経済的な発想でなく、医療の何たるか、原点を考えて解決されるべきだと思います。

私も若い時とは違って、今は男女機会均等の時代です。若い先生方、席が空いたら手をあげるの精神で大いにがんばってください。

新年に当り世界の平和と女医学会の発展を祈念して、ご挨拶と致します。

秋田支部
金子 ミサヲ

あらたまのとしのはじめのおよこびお申上げます。毎年祈りにも似た新春の夢、希望を、このことばの中にとじこめ、招福いたします。

さて2002年こそ、日本女医学会創立百周年の輝かしい幕開けです。早くも前年、百周年記念プレコンサート記念事業が開催され、熱い血潮をたぎらせている模様など、ほほえましく期待感を増大させられます。

また橋本会長ならびに理事会の諸先生のご努力による多彩な記念式典祝賀行事など嬉しく女医の理念を伺うべく是非この機会に地方会員の皆さまにも多数ご出席いただければ、PRにつとめ、実りあるものとしたいと存じます。一方、多発テロの悲愴を思い、戦争のない世界、平和への祈りを新たな希望として夢みたいものでございます。

山形支部
岸 よし

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年は世紀の始まりということで、期待と希望に満ちて迎えた年でありましたが、小泉政権下でも未だお先真暗であり、加えて、米国はタリバーンとの報復戦争を始めました。誠に許し難いテロ行為とはいえずとも、殺戮だけは避けてというのが戦争体験者の願いでありました。

生来男性は闘争を好み、女性は平和を愛します。私も女性には平和の

1992年、私財八百万円をもとに一四〇〇名の協力者の寄付を得て嘉屋日米交流基金を設立、翌年より五千ドルの奨学金で毎年ハワイより奨学生を招聘しております。昨年秋季に奨学生だった方々の招待をうけ、ハワイでの先生の卒寿パーティーに出席されました。五歳までハワイで育ち、太平洋戦争では広島で被爆されましたが今は、日米交流の花を咲かせ私たちの身近かにあるすばらしい女医として輝いております。

平成14年の新春を迎え、心からお慶び申し上げます。

香川支部
松浦 俊子

昨年は輝かしい21世紀の幕開けの年として、大いなる期待をしましたが、国内では経済不況の回復も進まず、国外では同時多発テロで新たな戦争が起きました。叡智を持った人間の所行として、まことに悲しむべきことといわねばなりません。

今年こそは医療に携わる者として個々の生き方と人間のあり方に高い目標を掲げ、医療環境の整備と質の向上に努め、それぞれの地域住民の皆様のご期待に沿いたいと願っております。

皆様のますますのご健勝とご活躍をお祈りいたします。

あけましておめでとうございます。今年こそは心穏やかに安心して暮せまよう祈ります。当支部より卒寿を迎え、お元気で活動しておられる方をお知らせします。昭和12年帝國女子医専卒の嘉屋文子先生は現在広島市で眼科診療をしておられます。

私どもはこれは全女性にかかわる大きな問題であると考えます。宮城県女医学会では今年から「女性医師による女性健康相談室」を開き、女性、特に高齢女性のQOL向上のために活動を始める予定です。ご支援を情報提供をお願い致します。

私どもは、このたびの内親王様御誕生は、平和への光を放たれた思いで慶賀の至りと存じ上げます。本会の一層の発展を祈り上げます。

はからずも、このたびの内親王様御誕生は、平和への光を放たれた思いで慶賀の至りと存じ上げます。本会の一層の発展を祈り上げます。

はからずも、このたびの内親王様御誕生は、平和への光を放たれた思いで慶賀の至りと存じ上げます。本会の一層の発展を祈り上げます。

はからずも、このたびの内親王様御誕生は、平和への光を放たれた思いで慶賀の至りと存じ上げます。本会の一層の発展を祈り上げます。

はからずも、このたびの内親王様御誕生は、平和への光を放たれた思いで慶賀の至りと存じ上げます。本会の一層の発展を祈り上げます。

はからずも、このたびの内親王様御誕生は、平和への光を放たれた思いで慶賀の至りと存じ上げます。本会の一層の発展を祈り上げます。

はからずも、このたびの内親王様御誕生は、平和への光を放たれた思いで慶賀の至りと存じ上げます。本会の一層の発展を祈り上げます。

はからずも、このたびの内親王様御誕生は、平和への光を放たれた思いで慶賀の至りと存じ上げます。本会の一層の発展を祈り上げます。

はからずも、このたびの内親王様御誕生は、平和への光を放たれた思いで慶賀の至りと存じ上げます。本会の一層の発展を祈り上げます。

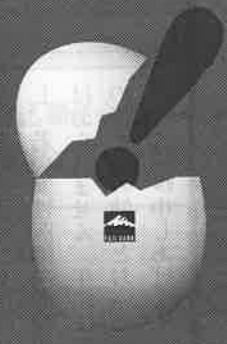
はからずも、このたびの内親王様御誕生は、平和への光を放たれた思いで慶賀の至りと存じ上げます。本会の一層の発展を祈り上げます。

はからずも、このたびの内親王様御誕生は、平和への光を放たれた思いで慶賀の至りと存じ上げます。本会の一層の発展を祈り上げます。

はからずも、このたびの内親王様御誕生は、平和への光を放たれた思いで慶賀の至りと存じ上げます。本会の一層の発展を祈り上げます。

みずほフィナンシャルグループ

お客さまへ、ワン・モア・アイデア。



富士銀行



エポジンス
シリンジ・アンプル
新発売

遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤

薬価基準収載

劇薬、指定医薬品
要指示医薬品：注意-医師等の処方せん・指示により使用すること

750 6000
1500 9000
3000 12000
EPOGIN'S
〈シリンジ・アンプル〉

EPOGIN'S Injection 一般名：エポエチン ベータ(遺伝子組換え)

※効能・効果、用法・用量、禁忌、使用上の注意、取扱い上の注意等については製品添付文書をご参照下さい。

中外製薬 104-8301 東京都中央区京橋 2-1-9



日本女医学会 JR・JCBビジネスカードのご案内

「日本女医学会 JR・JCBビジネスカード」は、日本女医学会会員の皆様専用のクレジットカードです。すでに多数の方々にご利用いただいております。まだお申し込みいただいていない方におかれましては、ぜひこの機会にお申し込みいただきますようご案内申し上げます。ご入会希望の方は、JR・JCBビジネスカード入会申込書に必要事項をご記入、ご捺印のうえ、専用の返信用封筒にて株式会社ジェーシービーまでご返送ください。



カード年会費は無料!

2002年2月28日(木)までに申込書が到着した方には
**もれなく「JOY JOYポイントプログラム」のポイント
100ポイントプレゼント!**

最後のチャンス

ご存知ですか? JCBビジネスカードの多彩なサービス

- 国内・海外旅行傷害保険サービス**
JR・JCBビジネスカードには、最高5,000万円の国内・海外旅行傷害保険が自動付帯されており、保険料の費用負担、ご出発前の事前手続きは一切不要です。(詳しいご案内はカード送付時に同封しております)
- ゴールドホテルサービス**
全国約700カ所の有名ホテル・旅館で「優待割引サービス」をはじめ、「レイトチェックアウトサービス」がご利用いただけます。
- 空港ラウンジサービス**
会員の皆様にゆったりとおくつろぎいただけるラウンジを、全国の主要空港内に用意しております。(ドリンク、新聞雑誌、フライトインフォメーションサービスなど)
- JCB法人優待割引サービス**
全国約1,700店舗の優待店でJR・JCBビジネスカードをご利用いただくと、ご請求時に5~20%割引になるサービスです。
- JOY JOYポイントプログラム**
カードのご利用金額に応じて自動累計されたポイントを、お好きな商品と交換できる「JOY JOYポイントプログラム」がご利用いただけます。

お申込み方法

別添の JR・JCB ビジネスカード入会申込書に必要事項をご記入、ご捺印のうえ、専用の返信用封筒にて株式会社ジェーシービーまで直接ご返送ください。

日本女医学会 JR・JCB ビジネスカードについてのお問い合わせ

株式会社ジェーシービー 法人デスク 0120-883-623
営業時間 9:00AM~5:00PM 日・祝休 ※電話番号は、お間違いのないようおかけください。

愛媛支部
岸 澄子

新年おめでとうございます。今年から支部長が交代いたしました。私が務めさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。永年ご尽力くださいました高岡明生先生にお礼と感謝を申し上げます。

昨年、愛媛県はえひめ丸が米原港に衝突され沈没、芸予地震による被害、北極点から西宇和郡瀬戸町の故郷まで「リーチング・ホーム」に挑んでいた河野兵市さんが北極圏で遭難死されたことなど悲しい出来事が続き心が痛みました。

高知支部
浜崎 浜子

年が改まりました。目に入る物、耳に聞こえる物すべてが新しい気分になるから不思議です。暮らしのあらゆる情景が新年の淑気に包まれて心も和やかに落ちて来ます。このような気分を持ち続けること

によって、テロや戦争、憎しみは消え、平和な世界が生まれるのではと思えてなりません。今年も私たち医師は一期一会の時間を、患者さんと一緒に病室と対峙する一年がスタートしました。

今年のテーマは「自然・家庭・友人」になるといわれています。平凡ですがもつとも基本的で大切な要素が含まれています。午年の今年、「人間万事塞翁が馬」という諺がありますが、お互い足元を見つめて、この一年を送りたいと願っています。

佐賀支部
緒方 文江

2002年の新春、日本女医学会百周年のこの年、新しく心に刻む諸問題の数々、医療面の多岐にわたる行政、介護問題、医師から見る人権問題、医者としての取組み、すべて山積みされ、解決と前進が迫られるものです。なかんずく女性医師として今や多くの社会的に大きな役割を背負い、より良き住みよい社会に、各自の力を尽くす時ではなからうかと思えます。

女性と仕事の 展示企画 第2回公募展

平成13年12月8日(土)~平成14年2月28日(木)
火~土9:30~21:00 日・祝9:30~17:30

社会とともに歩む女医展

日本女医学会創立100周年をむかえて

企画者：社団法人日本女医学会

女医のさきがけとなった荻野吟子、吉岡彌生など先人の業績を紹介するとともに、ハンセン病に対し信念を持って治療に従事した女医たちの活躍にも焦点をあてます。

生沢クノの官許医師免許(女医第2号)から女子医専時代の制服にいたるまで、貴重な資料を展示します。
※2月2日(土)に女医の歴史について講演会を行います。
4階第一セミナー室にて「社会とともに歩む女医」、講師は酒井シヅ先生(順天堂大学医学部客員教授)。

長崎では、支部の本会員は約30名、平均年齢も高くなっています。何とか若い力を取り込んで、地域の活動ができないかを検討した結果、

明けましておめでとうございます。今世紀こそ期待した2001年はテロ事件で思わぬ試練の年となってしまいました。今年も午年、このよくなわざわいを蹴飛ばして飛躍の年になってほしいものです。

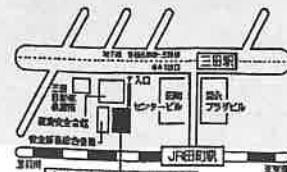
石井 伸子

新たに女性医師の会を発足致しました。今年で三年目になります。これまで女性医師の抱える諸問題(特に妊娠、出産など)に関するアンケート調査を実施したり、大学病院における保育所改善の問題等に取り組んでまいりました。忙しい中での活動はなかなか思うにまかせませんが、それなりの成果が上がっております。会員相互の交流を深めたいと、メールも開設いたしました。この方からこれからの女医会とどのように連携していくかが、今後の課題です。

宮崎支部
隅 初音

2002年の新春を迎えるにあたりおめでとうございます。21世紀初頭は何かときびしいものがあり、世界平和を願わずにはおられない問題の多い年だったように思われます。本年こそは高齢社会に対してもやさしい医療生活ができるよう願わずにはおられません。介護保険が始まって以来、大変なものになりそうです。個人的な事ですが、結婚五十年を迎え、人生のきびしさがわかったようで、わからないものを感じます。女性の自立をめざし、若い女性医師の活躍を願わずにはおられません。年頭にあたり会員の皆さまの健康とお幸せな年を祈りつつご挨拶申し上げます。

主催：女性と仕事の未来館
〒108-0014 東京都港区芝5-35-3
TEL 03-5444-4151(代)



女性と仕事の未来館
●JR田町駅より徒歩3分
●地下鉄三田線A1出口より徒歩1分

第7回国際女医学会

西太平洋地域会議について

会期 2002年5月10日-13日

会場 グランドホテル(台北、台湾)

テーマ 21世紀における女性の健康の推進と元気の回復

[Women's Health Promotion and

rejuvenation in the 21st Century]

サブテーマ 1、慢性疾患の予防

2、女性の癌

3、Reproductive Health

4、女性の精神疾患

5、心と体の健康

6、女性に対する虐待

7、医学における女性の地位

参加費 US\$200 (2002年2月28日以前)

US\$250 (2002年2月28日以降)

演題締め切り 2002年2月28日

*応募用紙は女医学会事務局にあります。

National Coordinator 平敷 淳子

百周年記念式典と総会のお知らせ

5月18日(土)

百周年記念式典...午後4時より

祝賀会...午後6時予定

(加藤登紀子コンサートを含む)

5月19日(日)

評議員会...午前10時

総会...午後1時

(詳細は4月号でお知らせします)

第7回国際女医学会西太平洋地域会議出席旅行のご案内

<JTB扱>

●会議出席コース

旅行期間: 2002年5月9日(木)~5月14日(火) <6日間>

旅程: 東京/台北/東京

旅行代金: 約185,000円

*利用予定ホテル: [台北] グランドホテル

*食事: 朝食6回

*日本発着時利用航空会社: 日本アジア航空

*添乗員: 同行しません。現地日本語ガイドがご案内します。

●会議出席と台湾周遊コース

旅行期間: 2002年5月9日(木)~5月17日(金) <9日間>

旅行代金: 約298,000円

*利用予定ホテル: [台北] グランドホテル [花蓮] パークビュー [高雄] アンバサダー

*食事: 朝食7回、昼食2回、夕食1回

*日本発着時利用航空会社: 日本アジア航空

*添乗員: 1名同行します。

◎東京以外の各空港発航空便、又はビジネスクラス利用ご希望の方は、別途下記担当者までお問い合わせ下さい。

(別行動も承りますのでお気軽にお問い合わせ下さい。)

*お申し込み・お問い合わせは

JTB海外旅行 虎ノ門支店

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-26-5

虎ノ門17森ビル7F

TEL: 03-3504-3706 FAX: 03-3504-3671

担当: 営業1課 (高津・渡辺)

<㈱阪急交通社扱>

●会議出席コース

2002年5月10日(金)~5月14日(火) <4泊5日>

・東京発着中華航空利用 お一人様 ¥154,000

・東京発着日本アジア航空利用 お一人様 ¥159,000

・大阪発着日本アジア航空利用 お一人様 ¥159,000

利用ホテル: 圓山大飯店

上記料金には往復国際航空運賃(エコノミークラス)、ホテル宿泊費用(お一人部屋)毎朝食付き、空港→ホテル・ホテル→空港の往復送迎費用が含まれますが、会議登録諸費用(オプションツアー代、ガラディナー、ウエルカムレセプション代など)、代行登録諸費用、日本国内外の空港税、朝食以外の食事料金は含まれておりません。添乗員は同行しません、現地係員がお世話致します。

●観光1日付きコース

会議終了後、13日(月)夕刻から14日(火)にかけての観光です。

最少催行人員: 3名 宿泊: 1名1室

①九分・野柳コース(14日/1日コース)

上記料金を¥13,800. プラス

②高雄1泊コース(13日夕-14日/2日コース)

上記料金を¥34,800. プラス

注) 東京発中華航空利用限定/利用予定ホテル: 高雄リージェント

③日月潭1泊コース(13日夕-14日/2日コース)

上記料金を¥22,800. プラス

利用予定ホテル: 埔里鎮飯店

④北投温泉1泊コース(13日夕-14日/2日コース)

上記料金を¥29,800. プラス

利用予定ホテル: 春天酒店

*お申し込み・お問い合わせは

㈱阪急交通社 新橋支店法人営業課 第4係

〒105-0004 東京都港区新橋3-3-9 阪急交通社ビル4階

TEL: 03-3508-0164 FAX: 03-3508-0321

担当: 宮崎 営業時間: 09:30~17:30(平日のみ)

クロコダイル・オーストリッチハンドバッグ特集



サン・シンフォニー(株)は、クロコダイル・オーストリッチの専門メーカーです。輸入からオリジナル国産商品迄製作!! アフターケアの修理まで。"作る人から使う人に伝わる心の調和を求めて"長いお付き合いを考える企業です。

取り扱い商品

- ・ハンドバッグ・ポシェット
- ・ポストンバック・リュックサック
- ・往診カバン・パイロットケース
- ・パソコンケース
- ・その他雑貨
- ・ペンケース・ブックカバー
- ・楽器ケース・楽譜カバー
- ・ペットの首輪等。

ハンドバッグのご用命・ご質問ご相談・製作見積・修理等は、下記のところにお気軽にご連絡下さい。当社の営業員が、お客様のご満足いく対応をとらせて頂きます。

〒111-0042

東京都台東区寿3-5-1

万盛ビル2階

サン・シンフォニー株式会社

(株)ワンポイント内

TEL 03-5828-1200

FAX 03-3847-3002

性感染症は「花柳病」と呼ばれ、歓楽街の売春と深い関係がある病いとして知られる。三大花柳病として梅毒、淋病、軟性下疳が性感染症の代表であったが、ペニシリンを始めとする抗生物質により流行は急速に鎮静化した。かわりに抗生物質が無効で症状が軽微な性感染症群（以下STD: sexually transmitted disease）が出現し、微小な病原微生物のクラミジアや各種ウイルス群による無症候性感染時代となった。そして局所には症状の出ない血液感染症群すなわちB型・C型肝炎、HIV感染が性感染症に加わり、これらを総称して性関連感染症（STI: sexually transmitted infection）と呼ばれる。

最近の性の自由化の進行度は若者



東京女子医科大学附属第二病院
泌尿器科講師 巴 ひかる

青少年の性感染症

たこと、第二に「まな板のいらない時代・コンビニエンス産業隆盛時代」になったこと、第三にテレビのバラエティー番組のなかに老人や弱者のいじめシーンがあることをあげられました。これらは、結果として、青

少年の心の安らかな発達を妨げ、心の健康問題を引き起こし、性行為の逸脱や攻撃性のあるキレル少年（人を殺してみたい）等の増加に影響を与えていると、結果として、青

二十〜二十四歳では二倍となつてい

の間で著しく、男女共高校三年生の性交経験率は40%にも達する。一方高校生の初交時避妊率は男女共50%以下で、二度目以降の避妊率はさらに低下し、その結果人工妊娠中絶の件数がとくに十五〜十九歳で増加している。このような望まざる妊娠の増加はエイズを含む無症候性の性感染症の流行も助長し、性感染症の無症候化と、性の開放という二大因子が「性感染症大流行時代」を創りつつある。

性器クラミジアは現在もとも流行しており性感染症の代表であるが、未婚妊婦のクラミジア抗体陽性率がCSW(commercial sex worker)のそれよりも高いという調査報告があり、クラミジアが歓楽街だけでなく、クラミジアが歓楽街だけでなくむしろ一般人口内に大きく流行していることを表している。クラミジア感染症の男性の症状は尿道炎、前立腺炎、精巣上体炎で、無症候性感染は50%であり排尿による自然治癒例も多いと考えられるが、女性では無症候性感染が80%と多く、子宮頸管炎、卵管炎、骨盤内感染症へと移行し、不妊症や子宮外妊娠の原因となるため、感染が終息しても大きな後遺症が残るほか、感染妊婦から新生児への感染も問題である。

わが国ではコンドームは避妊法と

平成13年度第1回学術研修講演会

日時：平成13年11月17日(土) 15:30〜17:00
場所：京王プラザホテル4階「花」

【演題】

- 一、「青少年における性感染症」
東京女子医科大学第二病院 巴 ひかる先生
- 二、「明日に向かっての青少年の健康支援」
厚生労働省医政局課長補佐 宮崎雅則先生

平成13年度学術研修会および懇親会

学術担当理事 澤口彰子

平成13年度第1回の学術研修会および懇親会を11月17日(土)午後3時30分から、京王プラザホテルで開催しました。この日は医学・医療関係の多くの会合と重なっていました。研修会および懇親会とも会員約五〇人、学生七人の参加者がありました。

最近、十代の性的逸脱行動は大きな社会問題となっています。これを踏まえて「明日に向かっての青少年

の健康支援」のテーマで、東京女子医科大学(以下女子医大と略)医学部泌尿器科学・巴ひかる講師および厚生労働省医政局総務課・宮崎雅則課長補佐のお二方より、お話を伺いました。

MIKIMOTO

ミキモトでは、日本女医学会の創立100周年を記念いたしまして4種類のデザインのジュエリーをお作りいたしました。同会のロゴマークのモチーフ、医術の神「アスクレピオス」が手にした杖と桜の花をアレンジした、ペンダントとスティックピンです。蛇がからみついた杖は医術の象徴とされ、あしらわれた桜の花は、女性らしい優しさを漂わせています。



- A. ペンダント K18製 パールサイズ約3.50・5.50mm チェーン約48cm ¥45,000
*ペンダントトップのみ ¥32,000
*WGK18製 ¥54,000もご用意いたしております。(ペンダントトップのみ ¥38,000)
- B. ペンダント K18-Pt製 パールサイズ約3.50・4.00mm 白蝶貝 チェーン約45cm ¥150,000
*ペンダントトップのみ ¥138,000
*裏面に「JMWA」の文字が入っております。
- C. ペンダント K18製 パールサイズ約3.50・4.00mm チェーン約45cm ¥55,000
*ペンダントトップのみ ¥43,000
- D. スティックピン K18製 パールサイズ約5.00mm ¥33,000

●表示の価格に消費税は含まれておりません。
お申し込み・お問い合わせは下記の係へ
ミキモト本店：〒104-8145 東京都中央区銀座4-5-5 法人営業二課 / Telephone 03-3535-4661
<http://www.mikimoto.com>

ACCUCHEK[®] アキュチェックコンフォート

Innovating Health Information
簡易血糖測定システム

血糖測定をするのはイヤなもの、面倒なもの。
そんな「糖尿病の方々の気持」から生まれました。
「痛みが少ない、使いやすい」、さらに快適へのやさしさを込めました。



新登場
使うひとにやさしいから毎日快適
Roche ロシュ・ディアグノスティクス株式会社
0120-642-860
ACCUCHEKはロシュ・ディアグノスティクスの血糖測定簡易製品の登録商標です。

青少年の健康支援



厚生労働省医政局総務課

宮崎 雅則

して用いられることが多く「粘膜接触の間着用しなければ性感症予防にならない」ことが知られていない。しかしHIV感染を含む性感症の予防にはコンドームの正しい使用を啓発し、性生活をもつ者のエッチ

ケット・ルールとして教育する必要がある。最近では女性用コンドームも普及しつつあり、女性も自らを守るために感染予防を行うとともに、自己採取によるクラミジア検査などを行うっていくことが望まれる。

青少年の問題を考える時、近年の大きな環境変化として「豊かさ」が一つのキーワードとして挙げられるのではないだろうか。豊かになったことが悪いとか、豊かさが原因というわけではありませんが、生活習慣病や心の健康問題など、世の中が豊かになるに従って顕在化してきたというところもでき、背景として大きな要素の一つではないかと考えられます。

具体的健康問題としては、特に生活習慣病、性とSTD、心の健康などが挙げられます。これらについては、昨年11月に策定された「健やか親子21」の中で触れられているので詳細は冊子に譲りますが、「すぐ切れてしまう少年」による近年の相次ぐ事件報道には多くの方が心を

痛めていることと思います。これらのケースでは、「いきなり」という印象を受けることが多く、このような状況を考えると、従来のように保護や再犯を防ぐことはもちろん大切ですが、今後は「一回目」の問題をいかに防ぐかが重要ではないでしょうか。

一次予防あるいは二次予防（早期発見・早期予防）のためには、さまざまな観点からの環境整備や研究が必要ですが、特に二点に絞って申し上げると、一つは相談体制の充実です。心の問題では家庭や学校で抱え込み、発見が遅れる傾向があります。が、予防の観点からは、気軽に相談できる体制（匿名の電話相談等）、専門的な相談体制（保健所、児童相談所、専門外来等）の充実が必要と考

この一冊で日本女医学会100年のすべてがわかる！

日本女医学会100年史

(社)日本女医学会編

2002年五月刊行！ 編集も大詰めに！

上製本・美装函付/B5判(一八二×二五七㎜)／二六〇頁(予定)

本書はこんな内容と特色をもっています

- 全編を通して「わかりやすさ」と「資料性・記録性の高さ」が自慢です。
- 「年表」と「解説」をセツトにした1年単位の網羅的・微視的な編集で、前例のない本格「正史」を完全収録。
- 過去に学び、未来を考える「座談会」2編を収録。
- 100年をデータで見える充実の「資料編」。
- 本書の情報を多層多層に検索できる「索引」。
- 時代を雄弁に物語る「写真」をふんだんに掲載し、「目で見る資料性」も加味。



日本最初の公許女医・荻野吟子 (明治18年、三十五歳)



「日本女医学会誌」創刊号の目次

1930(昭和5)年5月25日、第6回日本女医学会総会(上野精養軒)



「健やか親子21」関連事業 「十代の性と健康」

指導医養成講座

主催…社団法人 日本女医学会
協力…性と健康を考える女性専門家の会

「十代の性と健康」

指導医養成講座のご報告

環境整備小委員会 委員 対馬ルリ子

えられます。養護教諭や学校医のかわりも重要であり、また、かかりつけ医として小児科医や産婦人科医の参画も一つの方策と考えられます。もう一点はメディアに対する教育です。暴力やセックスシーン、いじ

めや老人を笑いのにした番組などが、青少年の意識や行動におよぼす影響が指摘されています。メディア情報には誇張やあやまりがあることを伝え、情報を批判的に見る能力を醸成させることが、思春期の課題の

解決に向け極めて重要ではないかと思えます。

(その他に、冒頭、医療制度改革に係る厚生労働省試案や最近の議論の状況について紹介した。)

10月28日、JR田町駅近くの女性と仕事の未来館で、「十代の性と健康」指導医養成講座が開催されました。これは、社会福祉・医療事業団の助成金を獲得し、「健やか親子21」関連事業として、「女性医師による十代の性と健康支援事業」の初年度事業として行われた企画です。

プログラムをご紹介します。まず橋本葉子会長の挨拶の後、第一部「指導医要請講座が開かれた。午前の部は情報編で、司会は荒木葉子先生(報知新聞産業医)

- 一、わが国の青少年の性的実態について
- ・中・高生の性意識…小田洋美(吉祥女子中・高校教諭、「人間と性」教育研究会)
 - ・開業産婦人科医の立場から…家坂清子(いんさか産婦人科、ぐんま思春期研究会)
 - 二、性と健康に関する科学的知識
 - 一特に、避妊や性感症に関する誤解や偏見を正す
 - ・避妊について…早乙女智子(N T T 東日本関東病院産婦人科)

- 性感染症について…早乙女智子(N T T 東日本関東病院)
- 午後の部は戦略編で、司会は澤口彰子先生(東京女子医科大学法医学教授)
- 一、先進的な取り組みに学ぶ
 - ・ヨーロッパとアメリカの取り組み…劔洋子(産業医大公衆衛生学教室)
 - ・小学校低学年からの取り組み…庄子晶子(大田区立池上小学校教諭)
 - 二、パネルディスカッション…地域での実践的取り組み | 行政・教育・医療のネットワーク構築の方法論
 - 一ヘコデーネーター
 - 対馬ルリ子(東京顕微鏡院、女性のための生涯医療センター所長)
 - (ハネリスト)

アレンドロネートの時代へ

新発売

骨粗鬆症治療剤

ポナロン錠 5mg

＜アレンドロン酸ナトリウム水和物錠＞

劇薬・指定医薬品・要指示医薬品(注意:医師等の処方せん・指示により使用すること)

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等詳細については、製品添付文書をご覧ください。

製造元・販売

TEIJIN 帝人株式会社

資料請求先: 医薬事業本部学術情報部 〒100-8585 東京都千代田区内幸町2-1-1

特許 3542/Bonalon® is the registered trademark of Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, NJ, USA.

BNT031(KK)0108 2001年8月作成

櫻井 馨 (警視庁犯罪被害者支援室)
高橋裕子 (都立養護教諭)
桑島昭文 (厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課)

つづいて第二部は一般対象の公開講座で、女性医師が語る性教育講座「性について学びそこねたおとなたちへ」
(コーディネーター)
早乙女智子
(パネリスト)
早乙女智子、高橋裕子、対馬ルリ子 (性と健康を考える女性専門家の会) 参加者には、プログラムと資料として、性と健康を考える女性専門家の会制作のリーフレット「ピル」性感染症「STD予防の考え方」、神戸市保健所作成の「知ってこホノマのこと」(白井千香先生資料)、産業医大公衆衛生学教室の科学研究報告書「諸外国の望まない妊娠対策に関する調査研究」(早乙女先生資料)、「ラブアンドボディブック」(母子衛生研究会提供) 女性用コンドーム(大鵬薬品提供)などが配布されました。ほかに低用量ピルを発売しているワイズ・レダリー社、銅不可IUD (子宮内避妊具)を発売している日本オルガノン社、大鵬薬品、ジョンソンアンドジョンソン社などの協力を得ました。

この企画は今年の春にメディアなどで紹介されたため、早くから各方面での反響があり、当日は当会会員を中心に、男性医師、助産婦、保健婦、養護教員など計一五〇余名が集まり盛況となりました。
参加者には、日本女医学会から参加証が授与されたほか、日本医師会生涯教育講座の三単位としても認められました。
参加された方々から、今後も各地域での啓発、相談事業に結びつけたことの意欲の声が寄せられ、企画担当者もうれしく思っています。この講座および支援事業は、今後も継続してゆく予定ですので、よろしくご協力、ご参加をお願いいたします。

一、マスコミに操られる中高生の性
十代の性の情報源は、雑誌やビデオなどのメディアからの入手が多く、ついで友人などの口コミである。雑誌やアダルトビデオに描かれている性描写は、男性が女性を征服し、あたかも女性性は性の奴隷のように描かれている。それを見る十代の性行動は、ビデオの真似事のような乏しい性の価値観しか築くことができない。同様に十代向けの少女雑誌も、「性交」を奨励しているかのような表現で、「性交を体験していないのは、あなただけ」というようなメッセージが感じとれる。このような情報の中で、正しい情報を見極める能力が

二、性のIT革命、しくまれた匿名性を商品として扱う商業には、ある程度の流行がある。確実に十代もその商業ベースに巻き込まれている。最近流行の携帯電話の「出会い系サイト」は誰かとコミュニケーションをとりたいというときに便利である。携帯電話の保持率は高校生では九割である。アドレスを取得していれば、ドンドン送信してくるので、そのメッセージを読んで、気に入った相手にアポイントを取れば、誰かとメールでやりとりすることは容易である。さらに、存在の見えない相手には何でも話せるし、自分のことも誇大表

一、はじめに
昨今の十代の中絶数の増加やSTDの増加には目を見張るものがあります。十代の性に関する健康やその権利を守るためには、相談窓口となる大人が性や健康に関して常に最新の科学的な知識を持って性行動の現状に対応すべきでしょう。
二、避妊について
「避妊」は日本では、長いことコンドームを使用することを指してきました。しかし現在、十代の避妊には小回りが効き、月経のさまざまなトラブルに対応できるピルが欠かせないといっても過言ではありません。また、STD予防と避妊は分離して考えるべきで、「ピルかコンドームか」ではなく、時代は「ピルもコンドームも」を要求しています。また、緊急避妊法(EC)といつてコンドームで失敗した可能性が高い場合に、中用量ピルを七十二時間以内に二錠、その十二時間後にまた二錠飲む方法があります。海外では、中絶ピルが

一、若年妊娠
若い女性は妊娠に対する意識が希薄であると感じます。「SEXするからには、常に妊娠を念頭に」ということの徹底が必要です。また、妊娠に気づいても問題解決能力が未熟なため受診も遅れがちで、異常妊娠や出産・中絶の決断も遅れがちです。
二、人工妊娠中絶
中絶数は十代だけが著しく増加しています。性感染症の罹患率も高い

この企画は今年の春にメディアなどで紹介されたため、早くから各方面での反響があり、当日は当会会員を中心に、男性医師、助産婦、保健婦、養護教員など計一五〇余名が集まり盛況となりました。
参加者には、日本女医学会から参加証が授与されたほか、日本医師会生涯教育講座の三単位としても認められました。
参加された方々から、今後も各地域での啓発、相談事業に結びつけたことの意欲の声が寄せられ、企画担当者もうれしく思っています。この講座および支援事業は、今後も継続してゆく予定ですので、よろしくご協力、ご参加をお願いいたします。

一、はじめに
昨今の十代の中絶数の増加やSTDの増加には目を見張るものがあります。十代の性に関する健康やその権利を守るためには、相談窓口となる大人が性や健康に関して常に最新の科学的な知識を持って性行動の現状に対応すべきでしょう。
二、避妊について
「避妊」は日本では、長いことコンドームを使用することを指してきました。しかし現在、十代の避妊には小回りが効き、月経のさまざまなトラブルに対応できるピルが欠かせないといっても過言ではありません。また、STD予防と避妊は分離して考えるべきで、「ピルかコンドームか」ではなく、時代は「ピルもコンドームも」を要求しています。また、緊急避妊法(EC)といつてコンドームで失敗した可能性が高い場合に、中用量ピルを七十二時間以内に二錠、その十二時間後にまた二錠飲む方法があります。海外では、中絶ピルが

一、はじめに
昨今の十代の中絶数の増加やSTDの増加には目を見張るものがあります。十代の性に関する健康やその権利を守るためには、相談窓口となる大人が性や健康に関して常に最新の科学的な知識を持って性行動の現状に対応すべきでしょう。
二、避妊について
「避妊」は日本では、長いことコンドームを使用することを指してきました。しかし現在、十代の避妊には小回りが効き、月経のさまざまなトラブルに対応できるピルが欠かせないといっても過言ではありません。また、STD予防と避妊は分離して考えるべきで、「ピルかコンドームか」ではなく、時代は「ピルもコンドームも」を要求しています。また、緊急避妊法(EC)といつてコンドームで失敗した可能性が高い場合に、中用量ピルを七十二時間以内に二錠、その十二時間後にまた二錠飲む方法があります。海外では、中絶ピルが

一、はじめに
昨今の十代の中絶数の増加やSTDの増加には目を見張るものがあります。十代の性に関する健康やその権利を守るためには、相談窓口となる大人が性や健康に関して常に最新の科学的な知識を持って性行動の現状に対応すべきでしょう。
二、避妊について
「避妊」は日本では、長いことコンドームを使用することを指してきました。しかし現在、十代の避妊には小回りが効き、月経のさまざまなトラブルに対応できるピルが欠かせないといっても過言ではありません。また、STD予防と避妊は分離して考えるべきで、「ピルかコンドームか」ではなく、時代は「ピルもコンドームも」を要求しています。また、緊急避妊法(EC)といつてコンドームで失敗した可能性が高い場合に、中用量ピルを七十二時間以内に二錠、その十二時間後にまた二錠飲む方法があります。海外では、中絶ピルが

一、はじめに
昨今の十代の中絶数の増加やSTDの増加には目を見張るものがあります。十代の性に関する健康やその権利を守るためには、相談窓口となる大人が性や健康に関して常に最新の科学的な知識を持って性行動の現状に対応すべきでしょう。
二、避妊について
「避妊」は日本では、長いことコンドームを使用することを指してきました。しかし現在、十代の避妊には小回りが効き、月経のさまざまなトラブルに対応できるピルが欠かせないといっても過言ではありません。また、STD予防と避妊は分離して考えるべきで、「ピルかコンドームか」ではなく、時代は「ピルもコンドームも」を要求しています。また、緊急避妊法(EC)といつてコンドームで失敗した可能性が高い場合に、中用量ピルを七十二時間以内に二錠、その十二時間後にまた二錠飲む方法があります。海外では、中絶ピルが

一、はじめに
昨今の十代の中絶数の増加やSTDの増加には目を見張るものがあります。十代の性に関する健康やその権利を守るためには、相談窓口となる大人が性や健康に関して常に最新の科学的な知識を持って性行動の現状に対応すべきでしょう。
二、避妊について
「避妊」は日本では、長いことコンドームを使用することを指してきました。しかし現在、十代の避妊には小回りが効き、月経のさまざまなトラブルに対応できるピルが欠かせないといっても過言ではありません。また、STD予防と避妊は分離して考えるべきで、「ピルかコンドームか」ではなく、時代は「ピルもコンドームも」を要求しています。また、緊急避妊法(EC)といつてコンドームで失敗した可能性が高い場合に、中用量ピルを七十二時間以内に二錠、その十二時間後にまた二錠飲む方法があります。海外では、中絶ピルが

一、はじめに
昨今の十代の中絶数の増加やSTDの増加には目を見張るものがあります。十代の性に関する健康やその権利を守るためには、相談窓口となる大人が性や健康に関して常に最新の科学的な知識を持って性行動の現状に対応すべきでしょう。
二、避妊について
「避妊」は日本では、長いことコンドームを使用することを指してきました。しかし現在、十代の避妊には小回りが効き、月経のさまざまなトラブルに対応できるピルが欠かせないといっても過言ではありません。また、STD予防と避妊は分離して考えるべきで、「ピルかコンドームか」ではなく、時代は「ピルもコンドームも」を要求しています。また、緊急避妊法(EC)といつてコンドームで失敗した可能性が高い場合に、中用量ピルを七十二時間以内に二錠、その十二時間後にまた二錠飲む方法があります。海外では、中絶ピルが

一、はじめに
昨今の十代の中絶数の増加やSTDの増加には目を見張るものがあります。十代の性に関する健康やその権利を守るためには、相談窓口となる大人が性や健康に関して常に最新の科学的な知識を持って性行動の現状に対応すべきでしょう。
二、避妊について
「避妊」は日本では、長いことコンドームを使用することを指してきました。しかし現在、十代の避妊には小回りが効き、月経のさまざまなトラブルに対応できるピルが欠かせないといっても過言ではありません。また、STD予防と避妊は分離して考えるべきで、「ピルかコンドームか」ではなく、時代は「ピルもコンドームも」を要求しています。また、緊急避妊法(EC)といつてコンドームで失敗した可能性が高い場合に、中用量ピルを七十二時間以内に二錠、その十二時間後にまた二錠飲む方法があります。海外では、中絶ピルが

一、はじめに
昨今の十代の中絶数の増加やSTDの増加には目を見張るものがあります。十代の性に関する健康やその権利を守るためには、相談窓口となる大人が性や健康に関して常に最新の科学的な知識を持って性行動の現状に対応すべきでしょう。
二、避妊について
「避妊」は日本では、長いことコンドームを使用することを指してきました。しかし現在、十代の避妊には小回りが効き、月経のさまざまなトラブルに対応できるピルが欠かせないといっても過言ではありません。また、STD予防と避妊は分離して考えるべきで、「ピルかコンドームか」ではなく、時代は「ピルもコンドームも」を要求しています。また、緊急避妊法(EC)といつてコンドームで失敗した可能性が高い場合に、中用量ピルを七十二時間以内に二錠、その十二時間後にまた二錠飲む方法があります。海外では、中絶ピルが

この企画は今年の春にメディアなどで紹介されたため、早くから各方面での反響があり、当日は当会会員を中心に、男性医師、助産婦、保健婦、養護教員など計一五〇余名が集まり盛況となりました。
参加者には、日本女医学会から参加証が授与されたほか、日本医師会生涯教育講座の三単位としても認められました。
参加された方々から、今後も各地域での啓発、相談事業に結びつけたことの意欲の声が寄せられ、企画担当者もうれしく思っています。この講座および支援事業は、今後も継続してゆく予定ですので、よろしくご協力、ご参加をお願いいたします。

一、はじめに
昨今の十代の中絶数の増加やSTDの増加には目を見張るものがあります。十代の性に関する健康やその権利を守るためには、相談窓口となる大人が性や健康に関して常に最新の科学的な知識を持って性行動の現状に対応すべきでしょう。
二、避妊について
「避妊」は日本では、長いことコンドームを使用することを指してきました。しかし現在、十代の避妊には小回りが効き、月経のさまざまなトラブルに対応できるピルが欠かせないといっても過言ではありません。また、STD予防と避妊は分離して考えるべきで、「ピルかコンドームか」ではなく、時代は「ピルもコンドームも」を要求しています。また、緊急避妊法(EC)といつてコンドームで失敗した可能性が高い場合に、中用量ピルを七十二時間以内に二錠、その十二時間後にまた二錠飲む方法があります。海外では、中絶ピルが

一、はじめに
昨今の十代の中絶数の増加やSTDの増加には目を見張るものがあります。十代の性に関する健康やその権利を守るためには、相談窓口となる大人が性や健康に関して常に最新の科学的な知識を持って性行動の現状に対応すべきでしょう。
二、避妊について
「避妊」は日本では、長いことコンドームを使用することを指してきました。しかし現在、十代の避妊には小回りが効き、月経のさまざまなトラブルに対応できるピルが欠かせないといっても過言ではありません。また、STD予防と避妊は分離して考えるべきで、「ピルかコンドームか」ではなく、時代は「ピルもコンドームも」を要求しています。また、緊急避妊法(EC)といつてコンドームで失敗した可能性が高い場合に、中用量ピルを七十二時間以内に二錠、その十二時間後にまた二錠飲む方法があります。海外では、中絶ピルが

一、はじめに
昨今の十代の中絶数の増加やSTDの増加には目を見張るものがあります。十代の性に関する健康やその権利を守るためには、相談窓口となる大人が性や健康に関して常に最新の科学的な知識を持って性行動の現状に対応すべきでしょう。
二、避妊について
「避妊」は日本では、長いことコンドームを使用することを指してきました。しかし現在、十代の避妊には小回りが効き、月経のさまざまなトラブルに対応できるピルが欠かせないといっても過言ではありません。また、STD予防と避妊は分離して考えるべきで、「ピルかコンドームか」ではなく、時代は「ピルもコンドームも」を要求しています。また、緊急避妊法(EC)といつてコンドームで失敗した可能性が高い場合に、中用量ピルを七十二時間以内に二錠、その十二時間後にまた二錠飲む方法があります。海外では、中絶ピルが

一、はじめに
昨今の十代の中絶数の増加やSTDの増加には目を見張るものがあります。十代の性に関する健康やその権利を守るためには、相談窓口となる大人が性や健康に関して常に最新の科学的な知識を持って性行動の現状に対応すべきでしょう。
二、避妊について
「避妊」は日本では、長いことコンドームを使用することを指してきました。しかし現在、十代の避妊には小回りが効き、月経のさまざまなトラブルに対応できるピルが欠かせないといっても過言ではありません。また、STD予防と避妊は分離して考えるべきで、「ピルかコンドームか」ではなく、時代は「ピルもコンドームも」を要求しています。また、緊急避妊法(EC)といつてコンドームで失敗した可能性が高い場合に、中用量ピルを七十二時間以内に二錠、その十二時間後にまた二錠飲む方法があります。海外では、中絶ピルが

一、はじめに
昨今の十代の中絶数の増加やSTDの増加には目を見張るものがあります。十代の性に関する健康やその権利を守るためには、相談窓口となる大人が性や健康に関して常に最新の科学的な知識を持って性行動の現状に対応すべきでしょう。
二、避妊について
「避妊」は日本では、長いことコンドームを使用することを指してきました。しかし現在、十代の避妊には小回りが効き、月経のさまざまなトラブルに対応できるピルが欠かせないといっても過言ではありません。また、STD予防と避妊は分離して考えるべきで、「ピルかコンドームか」ではなく、時代は「ピルもコンドームも」を要求しています。また、緊急避妊法(EC)といつてコンドームで失敗した可能性が高い場合に、中用量ピルを七十二時間以内に二錠、その十二時間後にまた二錠飲む方法があります。海外では、中絶ピルが

一、はじめに
昨今の十代の中絶数の増加やSTDの増加には目を見張るものがあります。十代の性に関する健康やその権利を守るためには、相談窓口となる大人が性や健康に関して常に最新の科学的な知識を持って性行動の現状に対応すべきでしょう。
二、避妊について
「避妊」は日本では、長いことコンドームを使用することを指してきました。しかし現在、十代の避妊には小回りが効き、月経のさまざまなトラブルに対応できるピルが欠かせないといっても過言ではありません。また、STD予防と避妊は分離して考えるべきで、「ピルかコンドームか」ではなく、時代は「ピルもコンドームも」を要求しています。また、緊急避妊法(EC)といつてコンドームで失敗した可能性が高い場合に、中用量ピルを七十二時間以内に二錠、その十二時間後にまた二錠飲む方法があります。海外では、中絶ピルが

一、はじめに
昨今の十代の中絶数の増加やSTDの増加には目を見張るものがあります。十代の性に関する健康やその権利を守るためには、相談窓口となる大人が性や健康に関して常に最新の科学的な知識を持って性行動の現状に対応すべきでしょう。
二、避妊について
「避妊」は日本では、長いことコンドームを使用することを指してきました。しかし現在、十代の避妊には小回りが効き、月経のさまざまなトラブルに対応できるピルが欠かせないといっても過言ではありません。また、STD予防と避妊は分離して考えるべきで、「ピルかコンドームか」ではなく、時代は「ピルもコンドームも」を要求しています。また、緊急避妊法(EC)といつてコンドームで失敗した可能性が高い場合に、中用量ピルを七十二時間以内に二錠、その十二時間後にまた二錠飲む方法があります。海外では、中絶ピルが

一、はじめに
昨今の十代の中絶数の増加やSTDの増加には目を見張るものがあります。十代の性に関する健康やその権利を守るためには、相談窓口となる大人が性や健康に関して常に最新の科学的な知識を持って性行動の現状に対応すべきでしょう。
二、避妊について
「避妊」は日本では、長いことコンドームを使用することを指してきました。しかし現在、十代の避妊には小回りが効き、月経のさまざまなトラブルに対応できるピルが欠かせないといっても過言ではありません。また、STD予防と避妊は分離して考えるべきで、「ピルかコンドームか」ではなく、時代は「ピルもコンドームも」を要求しています。また、緊急避妊法(EC)といつてコンドームで失敗した可能性が高い場合に、中用量ピルを七十二時間以内に二錠、その十二時間後にまた二錠飲む方法があります。海外では、中絶ピルが

一、はじめに
昨今の十代の中絶数の増加やSTDの増加には目を見張るものがあります。十代の性に関する健康やその権利を守るためには、相談窓口となる大人が性や健康に関して常に最新の科学的な知識を持って性行動の現状に対応すべきでしょう。
二、避妊について
「避妊」は日本では、長いことコンドームを使用することを指してきました。しかし現在、十代の避妊には小回りが効き、月経のさまざまなトラブルに対応できるピルが欠かせないといっても過言ではありません。また、STD予防と避妊は分離して考えるべきで、「ピルかコンドームか」ではなく、時代は「ピルもコンドームも」を要求しています。また、緊急避妊法(EC)といつてコンドームで失敗した可能性が高い場合に、中用量ピルを七十二時間以内に二錠、その十二時間後にまた二錠飲む方法があります。海外では、中絶ピルが



ヨーロッパとアメリカの取り組み

産業医科大学公衆衛生学教室

劔 陽子

欧米諸国では、キリスト教思想が強く、人工妊娠中絶が合法であるか、違法であるか、現在でも論争が続いているが、現在、欧米諸国の中絶法の多くは、人工妊娠中絶を「女性の権利」として認めている。同様に効果の高い避妊法にアクセスできる、また避妊や性感染症に関する十分な情報を入手できるということも、重要な権利、リプロダクティブ・ライツの一つとして考えられている。

これらの権利を、十代の若者たちも当然有している。欧米では若者を対象とした、ティーンズクリニクなどが整備され、若者たちも、成人同様に中絶や家族計画サービスを受けることができ、またそのプライバシーは確実に守られる。若者は概して経済的弱者であることが多いので、安価でサービスを受けようとする制度も確立されていることが多い。性教育を切り離すことなく、健康教育や生活教育の一環として、自尊感情やコミュニケーションスキルの育成などを含めた包括的な教育がなされている。

つまり、十代の性は特別視されることなく、基本的な人権を有する人間の基本的な問題として扱われ、その結果、欧米諸国では十代妊娠率、人工妊娠中絶率の低下や、性交開始年齢の遅延などの効果がもたらされてきている。

わが国の十代たちは、リプロダクティブ・ライツを十分に行使できているだろうか。興味本位な情報しか入手することができず、そういった情報に惑わされている若者たち。避妊薬がいいことがわかっていても、産婦人科には行き難い、お金がないから使えない、性感染症にかかっているのではと不安に思っても、親に知られては困るので病院には行かない、このような、十代がわが国にはあまりにも多いのではないだろうか。わが国とは社会的背景などが大きく異なる欧米諸国での方法をそのままでもうまくはいかないかもしれないが、わが国の若者たちのリプロダクティブ・ヘルスを守るために、われわれが何をすべきか、欧米諸国の対策を参考に考える。

いのちのはじまり

大田区立池上小学校

教諭 庄司 晶子

性教育をするにあたって、最も基本となる学習が、性交や性器の学習です。でも性の学習に慣れていないと、最も語りにくいのがこの学習でもあります。私はこの二つの大切な学習を含んだ、「いのちのはじまり」という授業のプランを紹介しました。

このプランは、すでに十数回いろいろな場所で活用してきました。自分の学級はもちろんのこと、ほかの学年の学級だとか隣の学級の授業だとか、頼まれて、一年生から六年生まで取り混ぜて三〇人ぐらいの子供たちが臨時に集まった場でも何度か実施してきました。大人向けに模擬授業をしたことも一、二度ではありませんが、そのときの子供たちの反応や大人の人たちの感想を聞いて、この授業のランに対して自信を深めてきました。授業での問いかけや、どのように話すかといふことをプリントにつけてありますので、そのまま使えば誰でもある程度できるようになっていきますので、小学校での性の授業をするという方には、参考にしていただけるのではないかと考えています。

規範意識の低下が問題

―被害者を支援することも大切―

警視庁総務部企画課犯罪被害者支援室

櫻井 馨

皆さんこんにちは。このたびは、(社)日本女医学会の皆さまと接する機会をいただきましたことをたいへん光栄に思います。

さて、「十代の性」についてでございますが、犯罪の中に占める十代の性犯罪被害が増加の一途をたどっております。この原因の一つが少女たちの性に対する規範意識の低下であり、他方「援助交際」と称する売春まがいの行為をする少女に、大人たちが群がるという社会風潮によるものであります。

他人に迷惑をかけなければ何をやってもいい、といった誤った道徳観念が少女たちの被害意識を希薄にさせているのが事実です。しかし、このような人たちは例外であります。多くの女性たちにとって、許し難い犯罪として毎日のように発生しているのが、強姦や強制わいせつ事件等です。例を挙げますと、帰宅しドア

高校生の性の現状とニーズ

都立高校養護教諭

高橋 裕子

を開けた瞬間、後ろから付いて来て、すかさず部屋に入られ被害に遭う。あるいは、鍵のかけ忘れ窓から侵入し、帰宅したところを犯行に及ぶ。このように女性をターゲットにした犯罪による精神的被害には計り知れないものがあります。

そこで、警視庁では、犯罪の被害にあわれた方に、被害を受けた直後から付き添い、病院への手配、医師への説明、捜査活動、刑事手続きへの説明等の支援を行っております。このスタッフを初期支援要員と呼び、都内警察署で二次的被害から守るための支援活動を行っております。当

ある性感染症の報告会の中で、「これまでの性教育は失敗だった」という言葉を、著名な思春期相談員である医師の口から聞いた時、私は耳を疑った。

「いつからの誰の性教育の事を言っているのだろうか?」

文部科学省が「学校における性教育の考え方・進め方」という初めての「性教育」という言葉をつかって「体系」をうちだしたのは、たかだか二

もない。

学校で子どもたちにたいする性の必要性を実感した教師は、「変人」といわれながら、自分の授業時間を工夫し、自分の時間や休暇で研修や学習を重ねているのだ。前述の「失敗に終わった」という医師は、こうした情熱をもって細々と授業をしている教師たちにむけた言葉なのだろうか? 文部科学省の「性」知識と子どもたちの性の現状の認識の差についての言及であろうと信じたい。

高校生と接して感じるのは自己決定できる子とそうでない子への接し方が根本から違うということである。避妊ひとつをとってみても、コンドームを自主的に使っている生徒は、ピルの意味ものみこめるし、選択をする能力も高い。こちらは選択肢を与えると実行は出来る。しかし、こうした生徒は全高校生の少数者である。

トラブルのおおい大半の生徒は自尊感情が低く、周囲に流されやすく、自己決定能力が低い。この生徒が性や身体のことについて、誰かに頼りたいと思う時は、相談室が開かれている昼間とは限らない。日常や生活時間さえ区切られてはいないから、自分の身体は、自分のものであるという認識がうすいので、避妊・妊娠・出産・性感染症防止など、周囲(男の考え、親の性認識、友人、

不確かな情報などに流されてただよっているだけなのだ。

要は、この生徒たちをどのように支援し自立能力をもたせるか、という計画的な「プログラム」が必要なのである。

私たちの未来を背負う子どもたち

健やか親子21について

厚生労働省雇用均等・児童家庭局

桑島 昭文

健やか親子21は、21世紀の母子保健の主要な取り組みを提示するビジョンであると同時に、それぞれの課題についての目標を設定し、関係者、関係機関、団体が一体となって推進する国民運動計画です。この計画は、昨年11月報告書の形にとりまとめられ、本年1月からスタートしています。

まず、この計画の基本理念は、ヘルスプロモーションにあります。それは、①住民の一人ひとりが自らの決定に基づいて、健康増進や疾病予防、さらに自己をコントロールする能力を高めること、②健康を支援する環境作りを行うこと、を大きな柱として展開する、公衆衛生戦略です。母子保健分野におけるヘルスプロモーションは、妊娠・出産や育児を通じて

は、小学生段階からの自尊感情引き上げ(といふべきかはわからないが)および性的自立(選択能、自己決定能力の気づき)にたいし、現場の教師・医師・そして子どもを含めた連携ある「性教育プログラム」の作成が急務であると考えるのだ。

人間として成長しながら親子が豊かな人生を送るために、子どもや育ちに関して個々の親子を支援するとともに、地域・社会と仲間と一緒に子どもの育ちを支援し、行政、関係団体等がその取り組みが推進される環境整備をしていくことです。

この計画においては、①思春期の保健対策の強化と健康教育の推進、②妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援、③小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備、④子ども心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減、の四つの主要課題を定め、各課題ごとに、問題認識、取り組みの方向性、具体的な取り組みについて提言しています。また、計画促進のために、母子保健、児童福祉、学校保健、産

百周年記念事業寄附者一覧 (平成13年12月20日現在)

Table listing donors for the 100th anniversary commemorative project. Columns include names, affiliations (支部), and addresses. Donors are listed in 10 rows, with names and affiliations in the first two columns and addresses in the third column.

業保健などの関係者・機関等の役割を明確にし、その統轄的組織として「健やか親子21推進協議会」を4月に発足しました。女医学会のみならず、積極的に参加を期待する旨を、ぜひ「健やか親子21」ホームページをご覧ください。

出席者のご意見

【40代 女性眼科医】産婦人科の先生方を差し置いてできることは？と思っておりますが、近くの集団から、手の届くところから、何かやって行ければと思います。

【30代 女性】いつも思うのですが、こういう会こそ男性の参加者が望まれるのに、少なく残念です。

【60代 女性小児科医】ここまで十代の性行動が進んでいるのか驚きました。時代の子どもは健康を守るために大人は何をすべきか、校医として今から活動(学校現場に情報を提供)をする責務を痛感しました。

【40代 女性看護教諭】各分野の多様な意見を聞くことができ、非常に有意義であった。ジェンダーにとらわれない見方・考え方を自分の仕事を進める上に大変参考になった。

【40代 女性】できればモラルの面でのディスカッションもあれば良かったと思う。

【50代 女性医師】女医学会をそろそろ脱会しようかと思っていました。本日とはとても楽しかったです。

【60代 女性医師】専門外のことでかなり無知の部分がありました。各講演ともに興味深いものでした。これから同様の講座をあれこれ多く開かれることを希望します。

【50代 女性】人工中絶は人殺しだと教え込むのはとんでもないという意見があり、残念でした。受精卵から命だという教育に基づいても人工中絶は人殺しなのです。だから避妊が大切であり、殺さなくても良い人生を歩んでいけるようにと教育するのだと私は考えます。産む性である女性に本当の命の大切さをしっかり教えないければ、自分の大切さも認識できない子供たちを世に送り出すことになるのではないのでしょうか。

【60代 女性】親が子どもの立場をより理解し、子どもの目線に立ってその心の悩みに親身になって相談できるように話し合えればとおもっています。

【50代 女性看護教諭】性教育の中に今日の話を加えていこうと思いましたが、医師以外に門戸を開放して参加させていたいただくことに感謝します。この続きを開催してください。

【30代 女性看護教諭】今日まで知らなかった事がたくさんあり、今後の自分自身の生活や子どもたちの係わりに活かしていきたいと思う。子どもに関わる同僚や保護者も今回のようなお話を聞き、学べる機会があるといいと思いました。

【20代 女性研修医】研修医としてローテート研修を始めたばかりです。基本的な知識が余りにもなく、これから自分が勉強すべき多くの課題を見つけたことができただけでも大きな収穫だった。

【60代 女性眼科医】不要論の眼科担当医ですが、眼科検診は検査当日だけの問題ではなく、視力や眼位についても非常に検査後の反応が重要ですので、学校医として重要な役割を担っています。科が違うので本日のお話は新しい事実として新知識を得た感じでした。

【20代 学生】性教育は生涯教育だと思っています。性教育は精神面と実施方法が車の両輪であるべきが理想であるが、なぜか対極にあるように思えて考えさせられました。

【40代 女性】講師の職種がもったいなかった方が活発になるのではと感じました。教育委員会や文部科学省の方たちが参加できる会を開いてほしい。

【60代 女性短大講師】「女医学会」ということで同世代の若い世代の学生に「将来、結婚し子供を持ち、家庭を健全に経営していく上に、性の知識をきちんと伝えたい」と考え、参加しました。仕事をもちつつ、誇りを持って活動して生かされるため、キーマンになって頂けることを期待しています。

【60代 短大教授】成人した者も常に学び、十代と向き合うこと、健康教育の一環としての性教育、現状を認識すること等、大切なことを認識しました。大変勉強になりました。

【年齢?】産婦人科の学校医の必要性は痛感していますが、親の無知と無責任も目に余るものがあります。ピル服用に関してホルモンを長期使用することについて肝機能検査等を用いることについて服用することを説明、浸透するようにすべきである。性教育は精神面と実施方法が車の両輪であるべきが理想であるが、なぜ

【10代 女子学生】今まで性教育となると、やっぱりどこか他の勉強と違うというか恥ずかしいイメージが強かったのですが、今日のお話を聞いて、決して恥ずかしいことではなくて、生きている人間にとっては絶対不可欠で学んで当然だと考えが変わりました。

【40代 女性】性の自己決定権を尊重するためには多様性の尊重という前提が必要であり、そのためにはジェンダーバイアスを脱皮した科学的知識が不可欠です。「知は力なり」という言葉通り、知はエンパワーメントの重要なファクターです。子供たちにその必要な知識すら届かないという現状を打破することが必要だと思っています。

【10代 女子学生】女産婦人科の先生は大切だと思います。同性にか話せないことや見せられないことがたくさんあるはずですが、この講演を聞き、興味以前よりわきました。

【40代 女性】性の自己決定権を尊重するためには多様性の尊重という前提が必要であり、そのためにはジェンダーバイアスを脱皮した科学的知識が不可欠です。「知は力なり」という言葉通り、知はエンパワーメントの重要なファクターです。子供たちにその必要な知識すら届かないという現状を打破することが必要だと思っています。

昨年11月、宮城県女医学会は、千葉県知事堂本暁子氏をお招きして、講演会「女性の健康 女性の医学」を日本女医学会と共催しました(宮城県、仙台市医師会後援)。堂本氏は、女性の健康に女性が主体的にかかわっていくことの重要性と女性医学に対する具体的な取り組みを、ご自身の体験をふまえて、いきいきとお話しされ、多数(二〇〇余名)の参加者に深い感銘と力強い励ましを与えました。宮城県女医学会は、「女性医療」の発展のため、女性医師による女性健康相談室の開設を準備中です。

●講演要旨

皆さま、こんにちは。仙台でお話でき、嬉しい。記者歴三十年、参議院議員歴十二年、千葉県知事歴七ヵ月、一貫して女性の健康の問題を扱ってきた。

約三十年前の、全国的な、中絶を禁止する優生保護法改正案反対運動を契機に、妊娠、出産の可能性を持つ女性の健康はどうあるべきかというところを、記者の立場を超え、自分の課題として捉えるようになった。

当時、望まぬ妊娠をした女性の心と健康の相談にのり、先見性のある医療活動をしていた仙台の長池博子先生を紹介され、ご縁が始まった。

女性の健康に関連する法案が、女性の体や都合が考慮されず、男性(の議員)の考えで決まることに疑問をいだき、政策決定の場に女性がいないければならないと考え議員となった。

1994年、「女性の妊娠、出産と人権」が初めて国際的に確立されたカイロ国際人口開発会議で、専門性を持った女性たちが意志決定にリーダーシップを発揮するのを目的に、強い刺激を受け、女性専門家のネットワークをつくり、「女性の健康と権利」を推進する運動を始めた。

米国では、NIHの所長に女性が就任したのを機に、女性の健康研究室が開設されて以降、政府施策が進展し、女性という性差を考慮した臨床、研究の推進のみならず、健康啓発活動が展開している。

更年期障害に苦しみ悩む女性が多いが、知事就任後、千葉県では県立

東金病院に女医による女性専用外来を開設し、女性専用医学の寄付講座を大学に開設する準備を進めている。女性の生涯にわたって質の高い健康

■埼玉支部・公開講演会

対馬ルリ子先生をお招きして

埼玉支部では、平成13年11月10日(土)、公開講演会を開催した。講師は対馬ルリ子先生(財・東京顕微鏡院、女性のための生涯医療センター所長、性と健康を考える女性専門家の副会長)、演題は「十代の性行動の実態と課題―若い女性のリプロダクティブヘルス・ライツを守るために―」であった。

講師の対馬先生は、一対一で話すべきことを二百人もの女子学生に對して、話すべきことが多いので、「ビデオを見て、その中から答えを考えよう」とのこと、私たちにもそのビデオでの説明からはじめられた。まずビデオでのクイズは、何人?

①日本人の予定外妊娠は十人に一人?

②コンドーム否認の失敗は百組に何人?

③緊急避妊とは?

つくりを維持するために、女性の主体的な関わりと、医療、行政が一体となった、包括的な女性医療施策の実施が大事である。

④Wメソッドとは?

まずビデオは妊娠から出産までの女性体内の変化、受精卵の着床から妊娠までを色のきれいなイラストで解り易く説明し、ついで脳の指令で制御されているエストロゲン、プロゲステロンの働きへとさかのぼるような話の進め方は、月経、受胎、妊娠、出産の過程が生徒にもよく理解されるだろうと思われた。自分が妊娠したい時に妊娠すべきであるのに、日本では50%が望まなかった妊娠である。女性自身の避妊は自分で、と新しい避妊法へ話が進む。

低用量ピル、器具、薬剤、注射等ある米国から日本は大分認可が遅れているが、これからだんだん避妊法も進むだろう。まず女性側のライフスタイルと、それに合う避妊法の選択が必要である事を強調される。次にスライドで、性と権利のお話である。

リプロダクティブヘルス・ライツ「生と生殖はあなた個人の権利」であり生殖の権利は守られねばならない。1994年に全世界で認められたリプロダクティブヘルス・ライツとは、

①妊娠する、しない、の自由権利

②安全な妊娠と出産の権利

③すべての新生児は健康で生きる権利

④エイズ等性感染症から除外される権利

の四つである。社会的個人的に良好な生活をする権利を持ち、家族計画と健康管理が進んでいる国は中絶が少ない。すべての人間の子供は望まれて生まれて来る権利がある。だが計画出産ではない比率が日本50%、フランス19%以下、オランダ10%以下となっている。

後半はピルとその他の避妊法についての功罪、性感染症について、避妊と性感染症予防は区別して考える事。十代の中絶が多くなっている現在、性交渉についての知識を全く持たない女子に早急に教えなくてはならない事を家庭、学校、社会が認識するよう、われわれ関係者が立ち上る必要があると強調された。

最後にフロアからの質問をお受け下さり、現在高校までの半数の生徒が性交渉の体験があり、十代の中絶が増加しているというショッキング

■宮城支部・公開講演会

堂本暁子知事をお招きして

宮城支部 岡山道子

永遠のテーマは「やすらぎ」

私たちは、たゆまぬ歩みを経て今日の臨床検査技術を確立

幅広い分野で社会に貢献しています

そして、未来の領域へ

「やすらぎ」の新しい形を求めて

三菱化学ビーシーエル

本社/〒174-8555 東京都板橋区志村3丁目30番1号

TEL.03(5994)2111 http://www.mbcl.co.jp

そして、未来の領域へ

そして、未来の領域へ



京都府あげばの賞をいただいて

京都支部 松本文絵

9月末、京都府知事より「元気に京都で暮らしていただいた女性の方に、ご褒美をあげていますが、医療関係では初めてで……」と電話があった。

京都の産婦人科医と結婚して五十年近い今、こし方を振り返るのも何かの縁だろうか。二十四時間多忙な業務の中で、二人の子育ての傍ら、「アルコール依存が胎児に及ぼす影響」で学位取得、一方大阪に開局したTVの教養番組を預かり、後にはポピュラーになるTVドクターとして「思春期外来」「不妊症」「赤ちゃんのTVドクター」に三年間出演した。その後あまりの過労から左眼網膜剝離、さらに黄斑部穿孔で失明した。四十五歳という年齢に加え、容貌の

な講話に、多くの質問があった。男性婦人科医師二人、埼玉県生徒指導アドバイザーの方などのすでに実行されている自己権利の意識開発、自己確立の教育に対する意見、質問、要望があり、また女医学会が中核とな

お祝い

東京女子医科大学 名誉教授 大森安恵

日本糖尿病学会坂口賞の受賞

私のささやかな受賞を女医学会誌にご掲載下さる由、大変光栄に存じます。2001年4月16日、第44回日本糖尿病学会の際、受賞致しました。坂口賞は、1986年坂口康蔵先生の生誕百年を記念して、日本糖尿病学会の当時の理事長小坂樹徳先生が中心になって作られたのだと伺っています。

坂口康蔵先生はご承知の通り、わが国における糖尿病の臨床と研究分野の開拓者のお一人で、糖尿病を診断するための糖質負荷量、米飯二七〇グラムを設定したいわゆる坂口食を作られた方です。1985年に生まれになり、1961年に逝去されているので、私はもう医師になっていましたが、お目に掛かる機会はないぞありませんでした。

しかし、東大教授時代の昭和12年、既に「糖尿病と妊娠」についての臨床講義をするなど、臨床面にも研究面にも実に卓越したご意見を持っていて、時代を開いた大先達として心から尊敬しておりました。賞状には「貴殿は本会の発展糖尿

病の進歩並びに糖尿病に関する啓蒙福祉に著しく貢献されました。ここにその功績を称え坂口賞を贈呈します。私は1956年東京女子医科大学を卒業するとすぐ糖尿病を専門とする中山光重教授に師事し、小坂樹徳、平田幸正先生といった世界の糖尿病

新医学用語辞典

炭疽菌毒素

炭疽菌(Bacillus anthracis)はグラム陽性、偏性好気～通性嫌気性の有芽胞大桿菌で、菌が分泌する毒素は三種の成分から成り立っている。①は浮腫因子(Oedema factor, OF)と呼ばれるアデニル酸シクラーゼで、宿主の防御機構を破壊する。②は致死因子(lethal factor, LF)と呼ばれる亜鉛依存性プロテアーゼで、細胞内の情報伝達系を阻害する。この結晶構造はレスター大学のA. D. Panniferらにより解析された。OF及びLFは酵素型成分で、細胞質ゾル内において基質を変化させる。③は防御抗原(protective antigen, PA)と呼ばれ、細胞受容体に結合して、OF及びLFの細胞質ゾル内搬入に関与している。PAの受容体はATR(anthrax toxin receptor)と命名され、I型膜タンパク質の一種であり、第VIII因子関連抗原であるvon Willebrand factor(vWF)Aドメインを細胞外に持っていることがウイスコンシン大学のK. A. Bradleyらにより同定された。このドメインが直接PAに結合する。

第5回ブロック別懇談会を開催して

富山支部 鳴河みどり

卒業以来、ただ年会費だけ納めていた私に、石川、新潟、富山支部との合同懇談会を富山で開催して欲しいと副会長の石原幸子先生から突然お電話があり、大変驚きました。私は、今まで日本女医学会総会に出席したこともないような隠れ女医のよう、富山へ参りましてから十六年間、一度も富山支部会の集まりもなかったようでした。このたびは同級生の平敷先生(理事)からのお手紙などから、どうしても開催しなければならぬ羽目となりました。一三名という少ない会員の先生方と連絡をとり、やっと四名の先生からお返事をいただきました。

10月14日、富山第一ホテルにて石原幸子副会長他九名の理事の先生、愛知支部から二名、新潟支部二名、富山支部五名(当日一名参加)の計一九名出席されました(石川は欠席)。石原副会長による日本女医学会の現況、2002年度創立百周年開催、2004年度国際女医学会日本開催の件について話されました。また、平敷先生による「会員増加への私案」についてのお話がありました。理事の先生方は、皆さま大変ご多忙の中富山までお出でくださり、バリエーションに富んでいただき、素晴らしいお姿に感動致しました。富山支部にも、ソロコンサートで歌ったり、CDを出しているユニークな眼科医がおられるので、いつか日本女医学会で歌うこともいいわねなどと話に花が咲きました。そして

専門医認定制協議会 評価・審査専門委員会のご紹介

会長 橋本葉子

日本医事新報No.4038(2001年9月15日)七十七ページに「専門医認定制で「基本方針」二者懇談会が協議会側が報告」という記事が掲載されておりますので既にご存知の方もいらっしゃると思いますが、専門医認定制協議会評価・審査専門委員会についてご紹介いたします。従来の学会認定制協議会を2001年4月に発展的に改称したのが専門医認定制協議会です。この協議会の中に専門医制度の基本的な事項を審議する目的で、評価・審査専門委員会が設置され、外部の有識者六名で構成されました。委員は左記の通りです。

(加盟学会は、I、基本領域の学会(日本医師会・日本医学会・専門医認定制協議会による三者承認対象の認定制の学会、一五学会)、II、Sub-specialtyの学会(内科・外科・またはそれに相当する学会の認定に上積み研修方式の認定制の学会、いわゆる二階建て部分、一六学会)、III、右記I、II以外の学会(区分がこれらから協議されるもの、一七学会)に分けられておりますが、これらは医療における役割や研修を考慮し、それぞれ関連群で調整・整備を進めることが効果的であるとの考えによって分けられたものであります。10月10日(水)に評価・審査専門委員会の初会合が開かれ、委員長に杉本先生が、副委員長に橋本が選ばれました。任期は一期二年です。評価・審査専門委員会は公平かつ中立的な専門医認定機構の設立に向けてのステップであると位置づけられております。専門医認定制度に関しましては学会により認定基準が異なるなど、多々問題があります。また、女性医師の専門医取得率の低さに対する対策、育児やその他の理由で決められている期間内に所定の単位を取得できない場合の対策など、問題を抱えております。今回の評価・審査専門委員会は「IIに分類されている学会の在り方が検討課題に挙げられま

した。日本医師会もこの問題は専門医認定協議会で議論すべきであろうという立場を示しております。日本の医療レベルアップに繋がるような専門医認定制度を確立し、研修内容などの評価も含めて、この専門委員会がお役に立てればと考えております。現在の専門医制度について忌憚のないご意見をお寄せ下さい。

文部だより

目黒区女性医師の会を開催して

目黒支部は日本女医学会員一八名の支部ですが、これではあまりにもさみしいので、目黒区医師会に在籍している女性医師全員に連絡いたしました。七三名の方に通知しまして、出席一九名(内当日欠席二名)、不参加三名、返事なし二三名でした。平成13年11月15日に代官山のレストランに集まりました。

日本女医学会理事の松井ひろみ先生や、元理事の八木貞子先生も見え、百周年のことなど話題にいたしました。

当日あいにく目黒区医師会の行事と重なりまして、区医師会の理事として活躍中の先生方が出席できまさんが残念でした。

このレストランを紹介していたいた塩野義のMRに新しい抗生剤の話を開いたり、集まった皆さまに自

目黒支部 中野敏江

私の大学【大阪市立大学医学部】

大阪第9支部 富永恵子

己紹介していただいたり、そのうち平成14年の新年を迎えるにあたり、この原稿のご依頼を受けて、改めて自分の歩んできた軌跡を振り返るよい機会をいただいた。今年は私も不惑の年齢でもあり、じっくり考えてみることにした。

私には母校が二つある。一つは医学部学生として過ごした近畿大学、故世耕政隆総長の下、医学部は本学とは離れた南河内郡に開校され、緑豊かな環境は勉学に勤しむには最高であった。たゆまぬ努力とチャレン

自然にお話が盛りあがって賑やかなことになりました。最後には「ああ楽しかった。また逢いましょう」で終わりましたが、なかなか女医会員の獲得まではいたりませんでした。組織力の不足というのでしよう。反省しています。気長にこのような会合を続けて仲間意識を育てて行きたいと思っています。そしてこのことが、百周年事業の成功につながって行くように努力したいと存じます。

ジ精神を常に持ち、最後まで諦めない問題解決志向型の脳を養う良き学生時代を送ることができたように思う。学問的に魅力的な教授が多く、お陰で生理学を専攻し、免疫学に携わりたいと学生時代から思い始めた。もう一つの母校は、長年研究生活を送った大阪市立大学医学部大学院である。その前身は大阪市立医学専門学校で、ついで大阪市立医科大学、大阪市立大学医学部と学制改革によって名称が変更されてきた。

一方、旧大阪市立南市民病院は医学部附属病院として引き継がれた。研究棟と病棟は数回に渡る増改築と新築を経て現在に至っている。私が入局した生理学第二講座は、大学長と医学部長を共に歴任された故細谷雄二教授(網膜色素細胞の研究)と故木村英一教授(血球細胞分離の研究)の両先生より引き継がれてきた伝統ある教室で、木下喜博教授(現在名誉教授)が胸腺リンパ球に関する研究をされていたので、学生時代より免疫学に興味を持っていた私は迷わずこの教室を選んだ。

医学部附属病院は市民のために設立されたという歴史的背景もあり、臨床の先生方と協力して臨床に応用・還元できる基礎的研究を進めるよう努めてきた。かくして、大学院生助手、講師として研究に邁進し、同時に医学部学生と附属看護学校生の教育にも従事することができた。これも周りの先生方のご協力のお陰と、感謝している。

平成12年4月からは、今までの知識と経験を活かすため、一臨床家として兄のクリニックで毎日を過ごしているが、やはり「三十五歳までに脳を鍛えておいて良かった」とつくづく思う。まだまだ新しい知識を取り入れつつ、諸先輩先生方の助言を賜わりながら精進して参りたいと思っております。よろしくお願致します。

理事会議事録

日時：平成13年6月23日(土) 午後3時より
場所：(社)日本女医学会会議室
出席者：橋本、石原、加藤、橋川、青井、大坪、澤口、鹿田、清水、田中、角田、久田、平敷、松井、村田、森川、山崎(下)、山崎(康)、山本(續)、吉崎、松本 (以上22名)
欠席者：内濁、川田、山本(時)、野澤 (以上4名)
4月理事会の議事録を承認
報告事項 久田理事
一、庶務報告 承認
別紙とおり報告 承認
二、会計報告 青井理事
平成13年4、5月分収支別紙とおり報告 承認
三、各部報告
【学術部】 山本(續)理事
・11月17日に「明日に向かう青少年への健康支援(仮)」と題し開催予定。
【広報部】 山崎(康)理事
・6月19日に割り付け会議を開催。
7月25日発行予定
【渉外部】 角田理事
・6月9日開催された(財)日本国際交流センター主催「公開国際シンポジウム、アジア・欧州対話」の「女の視点」の視点を越えて」に出席。

【事業部】 平敷理事・村田理事
・「いきいき」無断掲載の抗議文に対し、詫言があった。
・8月18日開催のプレコンサートの準備中。
【広報部】 山崎(康)理事
・7月25日に会誌167号を発送。
【松井理事より】
・「男女共同参画担当大臣との懇談会」及び「男女共同参画連携会議」(えがりてネットワーク)出席の報告。
【橋本会長より】
・女性と仕事の未来館主催「女性と仕事の展示企画」応募に「社会とともに歩む女医」のテーマで採用された。展示期間は2001年12月1日より2002年2月28日。
協議事項
一、百周年記念事業の件
・プレコンサートの件
①スムーズな進行のため役割分担を決定する。詳細事項は8月2日に行われる最終打ち合わせ後、おのおのに連絡する。
②救護班を設置。ブックメーカー等の販売をする。
・募金について
①ICS作成の企画書・募金趣意書について検討する。先月の理事会で不要と決定した「趣意書の発起人」は必要との意見が多数を占め、早急に各支部長、旧役員より諾否をとる。
②寄付は一口一万円。詳細は会長に一任する。
二、国際女医学会の件
百周年記念式典と同様、ICSに企画書等作成してもらおう。
三、環境整備小委員会の件
本日理事会終了後に委員会を開催し、8月19日開催のセミナーの件、10月28日開催の講演会の件について検討するが、委員会の決定事項すべて承認することとする。
四、第5回ブロック別懇談会の件
日程が10月14日(日)に変更となつたが、多数の出席を要請。
五、その他 なし
副会長(庶務部担当) 石原 鹿田・久田

理事会議事録

日時：平成13年7月22日(土) 午後2時30分より
場所：(社)日本女医学会会議室
出席者：橋本、石原、加藤、橋川、青井、大坪、川田、澤口、鹿田、田中、角田、久田、平敷、松井、村田、山崎(下)、山崎(康)、吉崎、野澤、松本 (以上20名)
欠席者：内濁、清水、丸茂、森川、山本(時)、山本(續) (以上6名)
6月理事会議事録を承認
報告事項
一、庶務報告 久田理事
別紙とおり報告 承認
二、会計報告 川田理事
平成13年6月分収支別紙とおり報告 承認
三、各部報告

理事会議事録

日時：平成13年9月29日(土) 午後3時より
場所：(社)日本女医学会会議室
出席者：橋本、石原、橋川、青井、大坪、内濁、川田、鹿田、清水、田中、久田、平敷、松井、村田、森川、山崎(下)、山崎(康)、山本(續)、吉崎、野澤、松本 (以上21名)
欠席者：加藤、澤口、角田、丸茂、山本(時) (以上5名)
7月理事会議事録を承認
報告事項
一、庶務報告 清水理事

【事業部】

平敷理事
・8月18日開催されるプレコンサートの券は理事各自一〇枚ずつ引き受ける。
・佐賀総会、バザーの売り上げは一五一、三〇〇円。ブックメーカーは九五本を販売
【ナショナルコーディネーター報告】
・M W I A本部事務局秘書の交代があった。
・次期会長のオーストラリアのD.H. Casparより協力の要請があった。
協議事項
一、第46回定時総会の反省
・評議員会の開催時間は10時からとする。
・議題が可決された時の役員のお札に対しての行動が徹底していなかった。役員席を配慮する。
・行事時間変更のお知らせがわかりにくかった。
・議長団・議長との事前の打ち合わせ、マニュアルの作成が必要である。
・報道関係者より「レジメ」の要求があったが、総会は非公開なので不要。

二、百周年記念事業の件
・募金に関して一支部向け・企業向け、募集期間は9月〜3月、発起人はなして趣意書(案)を再検討する。
・招待者(案)を検討し、意見があったら申し出る。
三、第26回国際女医学会議の件
・旅費等の費用を安価でとの要望もあり、価格を抑えるよう努力する。
四、第4回ブロック別懇談会の件
・6月17日に開催された岡山でのブロック別懇談会は理事一名の出席もあり、成功裡に終了。
・第5回ブロック懇談会について開催日を10月20日(土)、21日(日)で検討したが、富山支部で決定してもらおう。
福井、石川、富山、新潟、岐阜、長野各支部へ参加依頼をする。
五、国連NGO国内婦人委員会(エジプト・ジョルダン派遣)の件
・橋本会長が10月23日より11月2日までエジプト・ジョルダンを来年度の幹事団体として訪問する事が決定。
六、その他
①平敷理事より
・「いきいき」未定分の執筆者を決める。
・丸茂理事の「いきいき」の原稿が無断で「関東信越税理士国民健康保健組合雑誌」に掲載された件は弁護士に相談する。
・明治座より事業部に鑑賞券販売で協力の要請があった由。
②橋本会長より
・㈱ケンコー情報より月刊誌発行への協力依頼があり、協力を決定。
・女性と仕事の未来館より「展示企画」へ参加依頼があり、全員賛成で決定。
③青井理事より

・7月2日開催の講習会「働く女性のメンタルヘルス」の案内があった。
④石原副会長より
・今年も昨年同様、慶応大学夏期講習開催時在宅医療緊急相談を行う。
⑤職員夏期賞与は2ヵ月とする。
⑥理事会終了後、2004年国際女医学会議の準備等についてICSより説明があった。以上
副会長(庶務部担当) 石原 鹿田、清水、久田

・7月2日開催の講習会「働く女性のメンタルヘルス」の案内があった。
④石原副会長より
・今年も昨年同様、慶応大学夏期講習開催時在宅医療緊急相談を行う。
⑤職員夏期賞与は2ヵ月とする。
⑥理事会終了後、2004年国際女医学会議の準備等についてICSより説明があった。以上
副会長(庶務部担当) 石原 鹿田、清水、久田

別紙どおり報告—承認

二、会計報告

森川理事
平成13年7・8月分収支別紙どおり報告—承認。

三、各部報告

【学術部】

内潟理事
・11月17日開催の「平成13年度学術講演研修会」案内を全会員に送付。

【広報部】

山崎(康)理事
・会誌168号の割付会議を9月21日に開催。

【渉外部】

田中理事
・8月24日国立女性教育会館主催の「平成13年度助成額・ジェンター研究フォーラム」にコメンテーターとして出席の報告

【事業部】

平敷理事
・8月18日開催のプレコンサートの協力への謝辞

【庶務部】

鹿田理事
・10月14日富山で開催の「第5回アロクク別懇談会」へ申込状況の報告。現在の申込みは富山支部より四名、理事より一〇名。

【石原副会長より】

・プレコンサートの会計報告
・三三五枚の購入があり、七七四、九七四円の収益があり「百周年記念事業基金」に組み入れた。理事の協力に対し謝辞があった。

【協賛事項】

一、百周年事業の件

①「世界最初の女医」発行について

・大原一枝先生(大阪第7支部)が翻訳された「世界最初の女医」を百周年記念事業の一部として日本女医会より発行する事を検討した。賛成多数で承認。三、〇〇〇部で四〇〇万円くらいの見込み。

・「荻野吟子女史生家長屋門復元修理事業への後援」の要請が光恩寺(群馬県邑楽郡千代田町)よりあり、百周年記念事業終了後の来年6月以降に会員へも協力を求めることに決定する。

二、環境整備小委員会
①今後のあり方
・内容・財政的にも、より綿密な計画性を持って行い、厳正な体制を作るべきである。ビデオ制作については専門の先生の意見を取り入れる。委員会を開催し、これからの方向性を決定する。

②小委員会に関する内規
・平敷理事が原案を作成し、次回理事会で検討する。

三、その他
①石原副会長より
・会長、副会長の出席不可能な場合に、東京在住の理事が代理で出席するように要請があった。

②事業部より
・公開講演会の申込みが宮城支部、埼玉支部よりあり、埼玉支部は講師が会員なので講師謝礼以外は承認する。

③JCBゴールドカード加入について
・入会金、年会費免除、海外旅行の障害保険付きのJCBゴールドカードを会員に勧誘するか検討し、全員賛成で承認される。

④広報部より
・理事会終了後に「百年史編纂委員会」を開催する。

⑤ICSより百周年記念事業の企画運営案の説明があり、検討する。
・機会あることに宣伝し、努力してムードを高めること。以上

会員動静(敬称略)

◇新卒入会

梅本 万里 荒川
和泉 梢 大田
戸澤 里美 神奈川
細木 瑞穂 広島

◇入会

柳町 幸(平成9年卒) 青森
太田 厚子(昭和54年卒) 秋田
竹並 麗(昭和63年卒) 埼玉
原 睦子(昭和61年卒) 埼玉
江畑 理佳(平成元年卒) 千葉
金 恵 媛(昭和52年卒) 足立

集記
編後

新年おめでとうございます。今年には日本女医学会が百周年を迎えるおめでたい年です。先輩たちが百年にわたり築いてきた輝かしい日本女医学会です。5月18日(土)の記念式典と祝賀会5月19日(日)の定時総会を成功させるために、理事会は心を一つにして、準備を進めています。

「日本女医学会百年史」も5月の刊行にむけ、編集も大詰めとなりました。「わかりやすさ」と「資料性・記録性の高さ」をめざし、「年表」と「解説」をセットにした一年単位の編集で、前例のない本格「正史」となるでしょう。「写真」をふんだんに掲載し、「目で見る資料性」を加味しています。どうぞご期待下さい。

- 西島 薫(平成12年卒) 荒川 渡辺 正子(昭和22年卒) 広島
- 福原寿万子(昭和26年卒) 世田谷 内山 倫子(昭和63年卒) 佐賀
- 伊東 千秋(昭和57年卒) 豊島 ◇退会 二十四名
- 高山 敬子(平成9年卒) 東女学内
- 巴 ひかる(昭和58年卒) 東女学内
- 中澤 博江(昭和41年卒) 神奈川
- 宇津るみ子(昭和50年卒) 静岡
- 植田 啓(平成元年卒) 長野
- 加納美樹子(昭和56年卒) 富山
- 館 由貴(平成12年卒) 石川
- 豊澤 昌子(平成12年卒) 和歌山
- 木村 治子(昭和26年卒) 広島

- 青木 智恵(昭和3年卒) 足立
- 北西 壽子(昭和22年卒) 大阪第1
- 萩原田鶴子(昭和16年卒) 大阪第10
- 岡山ヒデ子(昭和8年卒) 岡山
- 岩本 薫(昭和9年卒) 佐賀
- 後藤すみ子(昭和11年卒) 長崎
- 塚本 妙子(昭和13年卒) 熊本

今回の医療改革によりわれわれ医療機関の受ける打撃は、深刻なものとなるでしょう。しかし、患者さんや家族との人間的な触れ合いを通して、質の高い医療と介護を提供してゆきたいものです。「死はわれに親しきものとなりしかど死にゆく人はみな物語もつ」 (大坪)

日本女医学会誌

第169号

平成14年1月25日発行

編集人 子公出版
大橋 坪本剛
発行人 金剛
制作 剛

発行所 社団法人 日本女医学会

東京都渋谷区渋谷2-8-7
青山宮野ビル 電話 03-3498-0571
〒150-0002 FAX 03-3498-8769
http://www.jade.dti.ne.jp/~jmwa/
e-mail address: jmwa@jade.dti.ne.jp